

2023年度 指定製品目標設定案 候補機器のご紹介

2024年3月22日

- ①床置型等除く、法定冷凍能力3トン未満のもの・・・2020年度 目標GWP 750(設定済)
- ②床置型等除く、法定冷凍能力3トン以上のもの・・・2023年度 目標GWP 750 (設定済)
- ③床置型の室内機が接続されるもの・・・2024年度 目標GWP 750 (前回設定済)

		法定冷凍能力3トン未満		法定冷凍能力3トン以上	
店舗・事務所用エアコンディショナー(※)	室外機	1 設定済  ※室外機同一	3 前回設定済  ※室外機同一	2 設定済  ※室外機同一	
	室内機	 ※室内機同一		 ※室内機同一	

①～③で大括り化

※ 中央方式エアコンディショナー、ビル用マルチエアコンディショナー、ガスエンジンヒートポンプエアコンディショナー、設備用エアコンディショナーを除く

⑤中央方式エアコンディショナー (空調用チリングユニット)・・・2027年度 目標GWP 750(設定済)
⑥中央方式エアコンディショナー (⑤を除く)・・・2029年度 目標GWP 750(今回設定案)

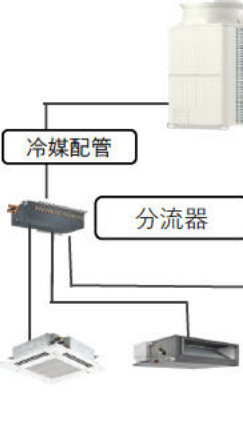
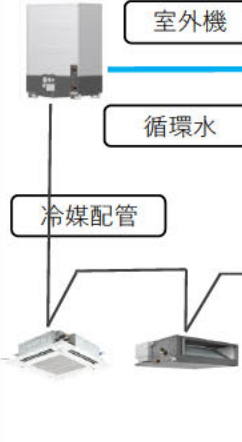
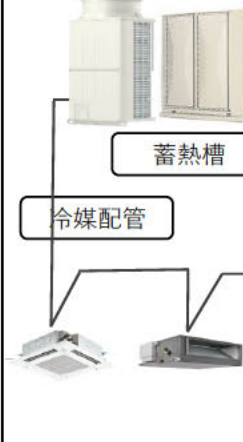
		5	6	チリングユニット (チラー)			
機種系列		空調用チリング*ユニット	産業用チリング*ユニット	ブラインチリング*ユニット	熱回収チリング*ユニット	給湯用チリング*ユニット	
店舗・事務所用エアコンディショナー	外観イメージ						
	特徴	温調した冷水あるいは温水がエアハンドリングユニットやファンコイルなどの機器で空気の温湿度調整に使用されるチラー 設定済	温調した冷水あるいは温水が機械や設備などの機能維持、製作物や食品などの冷却あるいは加熱、ボイラの給水などの1次加温に使用されるチラー	ブライン(不凍液)温度を制御し蒸発温度が-10℃より高いチラー 今回設定(案)	冷水と温水の温度を同時に制御できるチラー及びボイラーなどの排熱を利用して温水を供給するチラー	温調された温水が温浴施設の温水、食品などの洗浄や加工に使用されるチラー 業務用ヒートポンプ給湯器を含む	

⑤・⑥で大括り化

ビル用マルチエアコンディショナー

⑦ビル用マルチエアコンディショナー（新設及び冷媒配管一式の更新を伴うものに限り、冷暖同時運転型や寒冷地用等を除く）
...2025年度 目標GWP 750(設定済)

⑧ビル用マルチエアコンディショナー（新設及び冷媒配管一式の更新を伴うものに限り、⑦を除く）
...2027年度 目標GWP 750(前回設定済)

機種系列		新設用					更新用
		冷暖切替	冷暖同時(冷暖フリー)	寒冷地	水冷	氷蓄熱	既設冷媒配管流用
店舗・事務所用エアコンディショナー	外観イメージ						
	特徴	室外機の運転モード(冷房・暖房等)で、室内機が運転するタイプ。この為、同一冷媒配管系統の室内機は、冷房または暖房のいずれか切替の運転になる。 設定済	室外機の運転モードにかかわらず、室内機が運転(冷房・暖房)するタイプ。この為、冷媒配管系統上で、冷媒を分流する為、機器の設置が必要。	一般のヒートポンプ式エアコンは、低外気温時に暖房能力が低下する。この能力低下を、一定の低外気温まで防止する為、室外機の冷媒回路に変更を加えたタイプ。 前回設定済	一般的な「空気」を熱源とするヒートポンプ式エアコンと異なり、「水」を熱源とするタイプ。	深夜電力を使用して、冷却熱源を作り、昼にそれを利用した冷房で電力消費を低減するタイプ。冷却熱源を蓄える為、蓄熱槽が必要。	既設冷媒配管内の異物(冷凍機油・水分等)を回収する機能を室外機に備えることで、更新時に既設冷媒配管の流用を可能にしたタイプ。

⑦・⑧で大括り化

⑦・⑧で大括り化

- ⑨ガスエンジンヒートポンプエアコンディショナー（新設及び冷媒配管一式の更新を伴うものに限り、
冷暖同時運転型や寒冷地用等を除く）
・・・2027年度 目標GWP 750（設定済）
- ⑩ガスエンジンヒートポンプエアコンディショナー（新設及び冷媒配管一式の更新をを伴うものに限り、
⑨を除く）
・・・2029年度 目標GWP 750（今回設定案）

機種系列		新設用							更新用	
		冷暖切替	冷暖同時	寒冷地	発電外部出力型		ハイブリッド型	水冷却加熱装置搭載型	電算機用他	既設冷媒配管流用
店舗・事務所用エアコンディショナー	外観イメージ									
	特徴	室外機の運転モード（冷房・暖房等）に合わせて、室内機が運転するタイプ。同一冷媒配管系統の全室内機は、冷房または暖房のいずれかの運転となる。	室外機の運転モードに関わらず、室内機のモード設定に従って、冷房または暖房にて運転するタイプ。冷媒配管系統内に冷媒の分流器が必要となる。	一般機の暖房運転は排熱を利用するため暖房能力低下は少ないものの、低外気温時には暖房能力が低下する。この能力低下を一定の低外気温まで防止するため、冷媒回路に変更を施したタイプ。	エンジンで発電を行い、空調時に発電電力を外側利用できるタイプ。電力系統との連系が必要であり、専用のインバータ部品を搭載している。	停電時にバッテリーでエンジンを起動し機器および外部への発電出力により空調と電力を利用できるタイプ。専用のバッテリー、インバータ部品を搭載している。	同一冷媒配管内で、電気駆動およびエンジン駆動のコンプレッサにより空調するタイプ。駆動エネルギーである電気とガスの使用分担を変える機能を持つ。	室外機の運転モード（冷房・暖房等）に合わせて、冷水または温水を作り室内機へ水を供給するシステム。専用の水/冷媒の熱交換器が必要となる。	サーバールームやデータセンターなどの特定用途向け空調機。大風量、高顕熱、年間冷房を特徴とする。	既設配管内の異物（冷凍機油・水分等）を回収する機能を室外機に備えることで、更新時に既設冷媒配管の流用を可能にしたタイプ。
		設定済			今回設定(案)					⑨・⑩で大括り化

設備用エアコンディショナー(1/2)

⑪設備用エアコンディショナー（新設及び冷媒配管一式の更新を伴うものに限り、電算機用、中温用、一体型などの特定用途対応機器などを除く）
・・・2027年度 目標GWP 750(設定済)

⑫設備用エアコンディショナー（新設及び冷媒配管一式の更新を伴うものに限り、⑪を除く）
・・・2029年度 目標GWP 750(今回設定案)

11

12

機種系列		新設用 分離型							
店舗・事務所用エアコンディショナー	外観イメージ	汎用 床置【標準】	工場用 天吊	寒冷地用 床置	電算機用 床置	中温用 天吊	クリーンルーム用 床置	オールフレッシュ用 床置	スポット 天吊、壁掛
									
	特徴	機械・金属工場や食品・飲料工場、空気の汚れを嫌う製薬・半導体・電子工場などで使用するのに適した空調機。加熱器や加湿器などのオプション部品を兼ね備え、一般空調だけでなく、恒温恒湿空調が可能であることを特徴とする。	天井の設置スペースを利用し、機械・金属工場などで使用するのに適した空調機。	機械・金属工場などで使用するのに適した空調機。加湿器などのオプション部品を兼ね備え、低外気の寒冷地でも高暖房能力発揮可能であることを特徴とする。	サーバールームやデータセンターなどの特定用途向け空調機。大風量、高顕熱、年間冷房を特徴とする。	天井の設置スペースを利用し、食品・飲料工場などで使用するのに適した空調機。食品・飲料工場で要求される中温・低温ゾーンまで対応可能であることを特徴とする。	空気の汚れを嫌う製薬・半導体・電子工場などで使用するのに適した空調機。吹出口にHEPAフィルターを搭載することで、高い清浄度が求められるクリーンルーム空調が可能であることを特徴とする。	負荷の大きい工場や空気の汚れを嫌う製薬・半導体・電子工場などで使用するのに適した空調機。新鮮な外気のみを取り入れて冷暖房可能であることを特徴とする。	天井の設置スペースを利用し、厨房用や工場用で使用するのに適した空調機。吹出口にフレキシブルなダクトを取付けることで複数の作業員に対して空調が可能であることを特徴とする。
		設定済		今回設定(案)					

⑪・⑫で大括り化

12

機種系列		新設用						更新用
		分離型		一体型				分離型
		除湿機 床置、天吊	基地局向け 床置	除湿機 床置、天吊	スルーウォール 床置、天吊	スポット 床置、天吊	その他 床置【水冷式】	汎用 床置
店舗・事務所用エアコンディショナー	外観イメージ							
	特徴	食品工場や冷凍・冷蔵倉庫など外気浸入や加工工程での蒸気により高温度になり得る環境で使用するのに適した空調機。外観イメージは、ヒートポンプ式除湿器であり、冷却器と再熱器を搭載し、冷媒ヒートポンプのみによる冷却減湿と再加熱を行い理想の温湿度環境とすることを特徴とする。	通信事業者様の基地局向けの空調機。大風量、高顕熱、年間冷房を特徴とする。	食品工場や冷凍・冷蔵倉庫など外気浸入や加工工程での蒸気により高温度になり得る環境で使用するのに適した空調機。外観イメージは、ヒートポンプ式除湿器であり、冷却器と再熱器を搭載し、冷媒ヒートポンプのみによる冷却減湿と再加熱を行い理想の温湿度環境とすることを特徴とする。	壁面に設けた開口にはめ込んで使用するタイプであり、テナントなどの省スペースを要求される環境で使用するのに適した空調機。	工場で使用するのに適した空調機。吹出口にフレキシブルなダクトを取付けることで複数の作業員に対して空調が可能であることを特徴とする。	コンデンサを室内ユニットに内蔵し、冷却水によりコンデンサを冷却する冷房専用機。冷却水設備が充実した工場などに適した空調機。暖房運転が必要な場合は現地設備に応じて電気、温水、蒸気などの加熱器を搭載する。	工場等に設置されている既存のシステムに対し、既設の配管を再利用することで省エネ・省コストの空調リニューアルを実現可能とした空調機。

今回設定(案)

①有効容積が5万m³以上の新設冷凍冷蔵倉庫向けに出荷されるもの

2019年度 目標GWP 100(設定済)



[前川製作所様 HPより転載]

設定済

①以外のもの

②遠心式圧縮機搭載
2029年度
目標GWP 100
(今回設定案)



[三菱重工サーマルシステムズ様 HPより転載]

③容積式圧縮機(スクリー式)搭載
2031年度
目標GWP 150
(今回設定案)



[日立ジョンソンコントロールズ空調様 HPより転載]

④容積式圧縮機(スクリー式以外)搭載
2029年度
目標GWP 750
(今回設定案)



[東芝キャリア様 HPより転載]

今回設定(案)